

## 1. 授業の概要(ねらい)

前期は、文献や体験を通して、発達障害、LGBT、虐待、外国にルーツのある子ども、子育てに困難を抱える親などの理解を深めた。後期は、保育現場、教育現場、福祉施設、子育て支援現場などにおける支援について、フィールドワークを通して実践的に学びを深める。

具体的には、実際に支援現場を訪問し、見学、参加、聞き取りなどを行い、資料をまとめ、プレゼンテーションおよびディスカッションを行い学びを深める。

## 2. 授業の到達目標

- ・困難を抱える子ども、保護者に関する理解が深まり、多様な支援について考えることができる。
- ・聞き取り、アンケートなどフィールドワークに取り組む。
- ・フィールドワークから得られた結果をまとめ、発表資料を作ることができる。
- ・効果的なプレゼンテーションを工夫することができる。
- ・自分のテーマを決め、文献研究およびフィールドワークの結果を整理し、レポートを作成することができる。

## 3. 成績評価の方法および基準

資料作成と発表50%、レポート50%

## 4. 教科書・参考文献

教科書

必要に応じて文献を紹介する。

## 5. 準備学修の内容

資料収集、文献購読、発表資料の作成、レポートの作成などすべて授業外に行うものとする。

## 6. その他履修上の注意事項

興味を持って主体的に取り組んでほしい。また、物事を深く考え、掘り下げていくことの面白さを味わってもらいたい。

## 7. 授業内容

- 【第1回】 オリエンテーション  
授業計画について説明
- 【第2回】 グループ分けを行う。グループごとにフィールドワークのテーマを決める
- 【第3回】 フィールドワークの方法および結果の整理と発表の仕方を学ぶ
- 【第4回】 フィールドワークの計画を立て、準備を始める
- 【第5回】 フィールドワークの途中経過の報告とプレゼンテーションの準備
- 【第6回】 フィールドワークの途中経過の報告とプレゼンテーションの準備
- 【第7回】 4年生の卒論、卒研の中間発表
- 【第8回】 フィールドワークの途中経過の報告とプレゼンテーションの準備
- 【第9回】 プレゼンテーション:グループごとに発表および討論①
- 【第10回】 プレゼンテーション:グループごとに発表および討論②
- 【第11回】 プレゼンテーション:グループごとに発表および討論③
- 【第12回】 プレゼンテーション:グループごとに発表および討論④
- 【第13回】 プレゼンテーション:グループごとに発表および討論⑤
- 【第14回】 フィールドワークのまとめと来年度に向けての計画
- 【第15回】 4年生の卒業研究の発表